

令和4年度 いのちの授業 事例集（特別支援学校）【理科】

掲載数

3

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 神奈川県立	小5	理科	稲を育てよう	<p>バケツに入れた土に種もみを蒔き、稲の生育を観察する授業を行った。</p> <p>6月中旬に生育の条件や手順を確認し、途中で植え替えや水やりを控えるなどの方法を知った。水やり当番についてはクラス内で話し合い、均等に担当できるように調整をした。</p> <p>9月上旬には実が付き、下旬に収穫をした。稲を乾燥させた後、牛乳パックを使って脱穀し、さらにすり鉢と軟球を使ってすりもみを行い、やっと普段食べているコメの形にすることができた。</p> <p>稲を育てる活動をとおして、植物の育ち方を学ぶとともに、主食である米ができるまでの手間や工夫等について知り、生産者への感謝の気持ちをもつことができた。</p>	
2 神奈川県立	中1	理科	命を育てよう	<p>震災後に花を咲かせた「ど根性ヒマワリ」の種を育てることで生命に触れ、命が育つ様子を体感する授業を実施した。種を植える前に東北の震災に関わる紙芝居を見てどのような経緯で紡いでいる命なのかを知り、ヒマワリを学年みんなで育てた。芽が出た時には笑顔を見せる生徒がいたり、毎日の水やり係を楽しみにしている生徒がいたり、生徒それぞれがヒマワリの生長を感じることができた。ベランダで育てることで、芽が出ること、花が咲くこと等、日々命が育つ様子を感じることができた授業となった。</p>	講師は宮城県石巻市出身で東日本大震災で家族が被災した教員。
3 神奈川県立	高1	理科	眼の構造とはたらき 「ブタの眼球を解剖する」	<p>科学と人間生活では、目の仕組みについて学習した。模型を使い、角膜や水晶体などのパーツについて学んだ後、豚の目を解剖して観察をした。実験前の反応は様々だったが、実験になると全員が真剣に、命に感謝をしながら取り組んでいた。始めは緊張した様子で触れていたが、道具を使いながら水晶体等を取り出し、ガラス体の感触に対して、「ぶどうの実みたいな感触だった」等初めての経験にそれぞれが感想を言い合いながら取り組むことができた。</p>	教材・ブタの眼球